

会社名 シノフーズ株式会社

所属 商品開発

お名前 A. H さん

出身 大阪樟蔭女子大学

(平成21年学芸学部食物栄養学科卒業)

会社の概要



本 社：大阪市西淀川区竹島 2-3-18

事業内容：・米飯加工食品（弁当、おにぎり、寿司等）

・調理パン（サンドイッチ等）

・惣菜等の製造販売

事 業 所：千葉工場を含め8工場、物流センター

仕事の内容

◇どんな仕事 **お弁当やサンドイッチ、おにぎりなどの商品開発をしています**

私は、スーパーやコンビニエンスストアのお弁当や、サンドイッチ、おにぎりなどの商品開発をする部門にいます。新しい商品を開発するにあたり、メーカーへの食材サンプルの依頼、試作、検査、原価管理、営業に同行してのお客様への提案、工場でのラインテスト、新商品立ち会いという一連の流れを経て商品化します。お客様のニーズをあまり考えず、「これを商品化したい」という自分の思いだけで発表した時に、売れない商品となってしまったことがありました。自分や社内で良いと思った商品も、売って見ないと、売れるか売れないかは分からないということが難しいです。今は何が流行っているのか常に市場調査をし、テレビ番組のグルメ特集や売れている料理本を積極的にチェックし、常にお客様に目を向け、ヒットする商品作りを心がけています。スーパーを担当するチームとコンビニを担当するチームがあり、私はスーパーを担当するチームですが、全体では30人ぐらいが所属しています。



◇仕事の流れ

お弁当を作る場合は、商品が完成するまでに1カ月から2カ月ぐらいかかりますが、完成までのおおよその仕事は次のようになります。

食材のサンプル確認	試作品を作るために、工場やメーカーに依頼した材料を確認します。
サンプル作成	細菌検査用の商品サンプルを作成します。
商品考案	与えられた課題の商品を考案します。
試作（調理）	おかずを試作します。
試作（盛り付け）	会議に提出する試作品を容器に盛りつけます。
原価計算	使用している材料費や経費など、試作品の原価を計算します。
社内確認会	営業担当者や製造責任者に意見を求めます。
規格書作成	商品規格書や工場で作る際のマニュアルを作成します。

仕事のやりがい、つらかったこと

お客様が買ってくれた！！

お弁当などでも美味しいと思ってもらえる商品を作るのはとても大変ですが、何度も試作を重ね、社内確認やラインテストをした商品が店頭に並び、お客様がそれを手に取り、レジに向かった瞬間を実際に目にした時はとても嬉しかったです。また、工場でお弁当を作ってもらおうのですが、パートの方から「いつも美味しい弁当を作ってくれてありがとう」と言われた時もやりがいを感じます。

社会人として働いて驚いたこと、学生との違い

学生の時は、先生より課題が与えられるのに対して、仕事は自分で課題を見つけプロセスを立てていくところが違うと思います。今の仕事では、パイヤーのご要望で、このような弁当を作ってくださいという指示もありますが、自らがどのような商品売りたいかを考え、市場調査をし、試作し、社内確認会でプレゼンをするのが基本です。課題を自分で見つけるのは、とても大変だということを知りました。

入社して成長したこと

最後まであきらめない根気と忍耐力を養えた事だと思います。商品化するプロセスで、工場での限られた調理器具で生産しなければならないという問題点にぶち当たります。例えば、厚焼きたまごサンドを開発した際には、大量に生産するために一つ一つ焼く訳にはいかず、卵液を型に流してジェットオープンという大きなオープンで一気に焼く方法しかありませんでした。その限られた中で、手焼き風にフワフワ感を出すために、低温長時間で流したり、卵液に加熱しても固まらないスクランブル状の食材を混合したり、試行錯誤し成功しました。



会社を選んだ理由

健康、かつ美味しい商品を作りたい！！

食に興味があり、商品開発という仕事に携わりたかったので選びました。スーパー・コンビニエンスストアの需要が高くなっている今、お客様が健康かつ美味しいと思って頂ける商品を作りたいと思ったのがきっかけでした。もう一つに、同期と一緒に働ける環境があったからです。栄養士として施設で働きたいとも思いましたが、施設の栄養士は2名ぐらいと知りました。私は同期と共に働きたいと思い、今の会社に就職しました。今でも定期的に飲み会を開き、いいストレス解消の場となっています。

就職活動へのアドバイス

何か一つ自分に自信を持てる事をつくり、その強みを履歴書や面接で最大限に活かす事だと思います。面接では、学生がほとんど同じことを話していたり、無難に発言してしまったりすると思います。私はその中で印象に残る学生として何を言えばいいのかを考えました。私の場合は、学生時代に社会人のチアチームに所属しておりました。チアの経験を通してどのような困難を乗り越え、その時に身に付けた事を、どのように仕事に活かすことができるのかを、面接で明るく大きな声で発言すると、「堂々としていて良いですね」「そのハキハキした話し方はチアをやっているからですか」等、面接官が聞いて下さいました。自分の趣味や特技を強みとし、その強みをどのように仕事に活かしていきたいのかを自信を持ってアピールすれば、面接官に伝わると思います。